



釜小だより

2023年 4月28日
横浜市立釜利谷小学校
5月号



学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariya/>



緑とともに

校長 安達 修久

春から初夏にさしかかり、新緑に包まれた学校の周りの山々が、強い日差しを受けてまぶしく輝いています。

野鳥の鳴き声が聞こえてきて、さかんに活動しているのがわかります。ウグイスやシジュウカラの音が毎日のようにあちこちから聞こえてきます。カラスが群れをなして鳴きかわし、さかんに飛び交っています。禅林寺そばの道を歩いていたら、1羽のカラスが目目の前の塀に黒い姿でぬっととまったので、たいそう驚きました。

青とオレンジの羽の美しい鳥が校庭に飛んできました。以前「ダーウィンが来た！」で見たルリカケスという鳥に似ていると思い、検索してみました。ルリカケスは奄美地方で見られるとのことで、この辺りにいるはずがなかったのですが、色の似ている「インヒヨドリ」という鳥らしいと思われま。そういえばウグイスやシジュウカラ、カラスの鳴き声に交じて、甲高いおしゃべりするような鳥の鳴き声が聞こえてきていて、これがどうもインヒヨドリの鳴き方に似ていると思われました。

四季折々、釜利谷小学校周辺の自然の豊かさには感銘を受けますが、特にこの時季の色鮮やかさにぎやかさには、心を動かされ浮き立たせられる思いがします。きっと、昔から変わらない自然環境があってこそその姿なのだと思います。

5月26日の開校記念日で、いよいよ本校は150歳となります。4月の始業式と1年生を迎える会の中で、6年生が150周年にふれるスピーチを行っていて、意識の高まりを感じました。令和5年度入学の1年生を仲間に迎え入れ、全校で周年記念の活動を進めていくことになります。

5月1日には、マスコットキャラクターをデザインした絵文字を全校で校庭につくり、航空写真を撮影する予定です(予備日5月2日)。学校周辺の豊かな緑とともに、児童や教職員がカラーエプロンでつくるマスコットキャラクターの姿が映えることでしょう。

また今年度は、釜利谷小学校や地域のよさを今後につないでいくことができるように、各学年で学校や地域のことをとり上げた学習活動を進めていくことを計画しています。

5月25日には開校記念の集会を行います。本格的に祝う行事は12月9日(土)を予定しています。例年釜利谷フェスティバルを行っている日を、今年度は記念行事を行う日としました。体育館に全校児童が集まることを想定しているため、フェスティバルのようにご参観いただくことができないのですが、何らかの形で当日の様子を地域・保護者の皆様にもご覧いただけるようにしたいと考えております。

このような活動を、地域・PTAの方々にご協力いただいている「150周年記念事業実行委員会」とともに進めてまいります。その内容については随時お伝えしていきたいと考えております。どうぞご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。